

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC3)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
2026年2月13日
中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種		備考
					Atsc 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	
標津 (14.0)	2/10	0	-0.2	32.01	0	0	0	
		5	-0.1	31.98	0	0	10	
		10	-0.1	31.98	0	0	10	
		15	-0.1	31.98	0	0	0	

Atsc= Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (Alexadnrrium catenella (Group I)とAlexandrium pacificum (Group IV)を含む)
Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

コメント
麻痺性原因種Atscは出現していません。

下痢性原因種は標津でデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 品田晃良)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC2)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
2026年2月9日
中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種		備考
					Atsc 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	
厚岸 (7.0)	2/3	0	-0.2	32.1	0	0	20	
		5	-0.1	32.15	0	0	20	
		10	0.1	32.2	0	0	0	
		13	0.12	32.19	0	0	10	

Atsc= Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (Alexadnrrium catenella (Group I)とAlexandrium pacificum (Group IV)を含む)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

コメント

麻痺性原因種Atscは出現していません。

下痢性原因種は厚岸でデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 品田晃良)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC1)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
2026年1月23日
中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種		備考
					Atsc 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	
標津 (13.0)	1/13	0	1.55	31.99	0	0	10	
		5	1.56	31.98	0	0	10	
		10	1.56	31.98	0	0	10	
		15	1.57	31.98	0	0	20	
厚岸 (3.5)	1/19	0	0.49	31.99	0	0	0	
		5	1.65	32.57	0	0	10	
		10	1.82	32.64	0	0	40	
		13	1.84	32.65	0	0	10	

Atsc= Alexandrium tamarense species complex アレキサン德里ウム タマレンセ スピースーズ コンプレックス (Alexandrium catenella (Group I)とAlexandrium pacificum (Group IV)を含む)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

コメント

麻痺性原因種Atscは出現していません。

下痢性原因種は標津・厚岸でデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当:海洋環境グループ 宮園 章, 品田晃良)